

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第34号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議 事務局長 芝 忠

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F

TEL045-633-5142 FAX045-633-5194

Email: zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

異グ連総会の報告

芝 忠

6月21日、神奈川県異業種グループ連絡会議（異グ連）の第22回定期総会が神奈川中小企業センターで開催されました。新しい事業計画の中で注目される方針が幾つかありましたのでご報告いたします。**第1に新たな「交流センター機能」づくり、第2に「事業化プロジェクト」における大きな成果の報告と新規プロジェクトの提案、第3にJICA（独）国際協力機構との連携活動**です。

第1の「交流センター機能」の強化策とは、昨年から取り組んでいる3地区サロン（横浜・川崎・三浦半島地域）と、本年4月からスタートした異グ連事務室を活用した「異グ連サロン」の4つを有機的に結びつけつつ、新たに神奈川県内の小田原・厚木・相模原などへの展開、さらに東京都大田区・品川区にまで広げようという構想です。要するに個別の異業種交流グループはそれ自体が固定会員による閉鎖的な集まりとなっていますが、この交流サロンは極めてオープンな集まりで、“場”を提供する事業です。従ってだれでも参加可能なのと同時に、他地域のサロンにも自由に参加出来ます。人脈を広範に広げようという作戦です。先発のサロンが十分機能しているとはまだ言えませんが、一定の地域拠点としての役割を徐々に果たしつつあります。そこで今年にはさらに周辺に広げ、特に大学人や行政マンの参加を促したいと思います。そうした地域的な展開が相互に刺激し合えれば、「新しい地域産業の創造と、既存産業のさらなる活性化を目指す“一大交流サロン”」（仮称）になることが期待されます。

第2の「事業化プロジェクト」の設置・運営は「神奈川異グ連」の最大の特徴かつ成果の一つで、数十人のコーディネータ・アドバイザー集団の協力により実施されています。しかしプロジェクト設置の最初のステップはともかくとして、設立した会社が倒産したり、プロジェクトの機能停止や解散、他への身売りや休止状態に陥ったプロジェクトもあるのが現実です。そうした中で、航空・宇宙開発関連部品調達支援プロジェクト（略称：まんてんプロジェクト）と高機能環境舗装（超硬度・透水性・保水性・新道路舗装）プロジェクトはこの1年、数百万円から数千万円の成約・売上げを獲得することに成功しつつあります。前者はJAXA（独）宇宙・航空研究開発機構）や大手システムメーカーからの受注、後者は千葉県幕張テクノガーデン通路（駐車場）の広大な舗装の受注に成功しています。異業種交流を活用した事業化プロジェクト方式の成果としては画期的です。

続いて、新たな地域活性化プロジェクトとして「横浜野毛地域活性化プロジェクト」を設置します。すでに6月度の横浜サロンで野毛飲食業協同組合の幹部を招いた討論会を開始しており、組合側も強い関心を持っています。異グ連は飲食店の利用者という立場からアプローチし、経営者との連携を行います。年内に数回の交流会やら、飲食店めぐりなどを開催する予定です。また関連プロジェクトである「『関内地域』都市再生プロジェクト」が地域的に野毛地域と隣接しており、いわば関内地域の業務ビルの勤め人が帰途、野毛で一杯やるという構図でした。ところが関内地域の業務ビルが次々にマンション化されていく中で、野毛の衰退も始まっています。従って両プロジェクトは本来一体なものです。関内地域が先行していたわけですから、異グ連の地域戦略としても密集地域という意味で重要な展開になります。

第3の「JICA連携プロジェクト」は具体的には旧ソ連地域であるアルメニア・グルジア、またその他地域の中小企業支援活動です。異グ連が研修を請け負い、また地域活性化プログラムの作成等を行います。すでに6月にアルメニア国へ異グ連から2名の調査団メンバーを派遣しました。これも全国的にみて大変重要な国際的役割を期待されているわけです。一地方の異業種交流の連合体がここまで評価されるということは、画期的なことです。今後も中小企業支援等の分野で異グ連の経験を生かしたいと思います。

その他、県内グループとの交流強化、理論研究誌の発行、異グ連の財政問題、会員の増強、理事会活動の強化など、かなり踏み込んだ内容が検討されました。また20周年記念誌も当日参加者に配付されました。追って会員の皆様に議案書とともに配付いたします。

了

「神奈川異グ連20周年記念誌（初稿）」発行されました

神奈川異グ連は、昨年20周年を迎え、平成16年6月に記念式典を開催しました。今回の記念誌は、神奈川異グ連が歩んできた20年を振り返り、今後のあり方を多方面から検討してみよう、という試みです。

第一部は、記念式典の際の「松沢神奈川県知事の式辞」「南出議長の挨拶」の他、4人のベテラン ビジネスコーディネーターからの記念投稿を掲載しました。

第二部に当たるのが、2回にわたって開催された「記念座談会」です。その第1回は、「神奈川異グ連の20年を語る」と題し、柳田一千一氏など5名の出席者により思い出話を存分に語って頂きました。“横ベン”“YKプロジェクト”“C&Sスタート”など編集者には初めて耳にすることがポンポンと飛び交いました。第2回は、「神奈川異グ連の過去から、将来を展望する」と題して、南出健一議長、中山邦男氏、芝忠事務局長により、討論が交わされました。これらの中で編集者も時代の変化と神奈川異グ連活動の変化などを興味深く聞きました。先輩のスケールの大きな異業種交流の働きかけ、激しい戦いの中に将来展望を描いていた草の根運動、そして新しいネット社会への対応などを改めて考える機会になりました。

この記念誌は、平成17年6月21日の「神奈川異グ連総会」で出席者に配布しました。当日出席できなかった方でご希望の方に神奈川異グ連事務局にてお渡しします。40ページものです。

(神奈川異グ連事務局スタッフ 相楽守)

主要な「かながわ異グ連」のプロジェクト、及び研究会の活動報告、PR

オールディーズ・シニア・クラブ

「興味深々な「昭和20年代の横浜」講話」

小林BC

会員が講師を勤める講演会（1時間程度）を定例会で行う企画が盛り上がり、コミュニケーションの向上に一役買っております。特に、新しい会員の積極さが目立っており、「環境と健康」「介護保険の手続」「魚河岸の裏話」などの興味深いテーマが10月まで決まりました。

6月10日（金）の定例会では長老である仲山会員から「昭和20年代の横浜」の話聞くことが出来ました。終戦後の混乱期に少年時代を過ごした貴重な思い出話に聞き入り、大切にされている写真集を拝見したり、時の経つのも忘れるくらいでした。今年が戦後60年の節目の年であり、本日が「時の記念日」であったのが偶然とは言え、何かの因縁かもしれませんが、立派に復興した横浜のバイタリティを伺うことが出来ました。

話の一端を紹介します。

- ① 米軍のモータープール（黒人部隊で輸送隊）で働いた話。
 - ・ 15歳でトレーラーを運転したが、米軍の免許証によるもので、多分日本人で運転したのは仲山氏が最初かもしれないとのこと。
 - ・ YMCA で英会話を習い、結構役立ったが、今でも多少喋れます。
- ② モンキーハウス、カマボコ兵舎。
 - ・ モンキーハウスは留置場のことで、元々米軍人を収監する所だったが、朝鮮戦争が始まってガソリンの横流しなどで捕まった日本人を収容した。満杯になって、カマボコ型の兵舎が流用された。
- ③ チャブヤ。
 - ・ 外国人（船員、軍人等）を専ら相手にするホテルと称する洋館風の建物が並ぶ特飲街、いわゆる赤線区域のことで、本牧岬の一角に昭和初期頃からあったとのこと。昭和33年赤線禁止の法律により姿を消しました。
 - ・ 淡谷のり子のヒット曲「別れのブルース」（窓を開ければ、港が見える。メリケン波止場の灯が見える。・・・）はこのチャブヤを舞台にしたといわれています。
- ④ マッカーサーの家。
 - ・ 米軍司令部が第一生命ビルに移る前は、横浜の税関ビルにあった。マッカーサー連合軍最高司令官は根岸の競馬場（現在の馬事公園＝根岸競馬記念公苑）の奥の高級住宅街に住んでいた。
- ⑤ コカコーラの原液で煮物をした。
 - ・ 砂糖などの甘味料が入手難であったので、木の樽から漏れるコカコーラ原液を集めて煮物をしたことがある。港湾に陸揚げされた樽は引込み線を使って工場（現在の山手警察署の近く）に運ばれるが、原液が漏れていることがあり、これを集めた。
- ⑥ 朝鮮戦争時の港の混乱など。
 - ・ 共産軍が釜山近くまで攻め込んできた結果、壊れた車両や兵士の死体等で横浜は混乱した。

以上

| | |
|---|---|
| <p>関内地域都市再生プロジェクト “馬車道（北仲）再開発計画（森ビル）浮上” 織方BC</p> <p>“森ビル”により、みなとみらい線・馬車道駅最寄の北仲通にある築80年の旧帝蚕倉庫を、横浜開港150周年の2009年に高層ビル竣工の予定で、来週、再開発計画がスタートすることが明らかになりました。</p> <p>しかも、着工するまで既存ビルを、市の方針に沿って、文化芸術創作活動拠点として活用できるようにコンバージョン（改修して用途変更）を実施して、建築家・アーティスト・音楽家・デザイナー等クリエイターに対し貸し出す方針のようです。いずれにしても関内地域の活性化の引き金の一つになることと思います。本プロジェクトとしても、その対応を具体化したいものです。</p> | |
| <p>PR 日韓ビジネス協議会の紹介 高橋BC</p> <p>○設立の経緯</p> <p>神奈川県異業種グループ連絡会議と韓国中小企業振興公団の交流活動は芝事務局長が1990年に韓国を訪問して日本の異業種交流活動を紹介したことが始まりです。1991年2月6日には「第1回・日韓異業種交流シンポジウム」が横浜で開催され、以後韓国と日本と交互に交流シンポジウムが開かれています。</p> <p>1998年「日韓交流促進プロジェクトチーム」を発足しました。これを母体に、ビジネス中心の本協議会につながっています。</p> <p>○目的</p> <p>本協議会は各種情報交換、異文化交流、業務提携、技術提携、資本提携などを促進することを目的としています。</p> <p>○活動内容・状況</p> <p>既に55回の協議会が開催されました。韓国側から韓国中小企業振興公団、韓国貿易協会の日本事務所、駐横浜大韓民国総領事館領事などが出席しています。</p> <p>第56回・日韓ビジネス協議会の開催予定は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時：7月27日（水）pm3:15～5:15 以降は懇親会 2. 場所：神奈川中小企業センター：5階・会議室 3. 会費：1,000円（懇親会費を含む） 4. メイン講演者：2005年度版中小企業白書について・瀧澤会長 <p>参加時には必ず事務局の高橋まで連絡して下さい。</p> <p>TEL：045-311-0094、MAIL：mtakahas@tb3.so-net.ne.jp</p> | <p>新防食技術活用プロジェクト 田中繁夫BC</p> <p>本年度の最初の例会を6月23日に開催した。タケコート（特殊フッ素樹脂の防食コーティング）で有名な東大阪に本社がある竹中製作所の東京営業所から西川氏が新たに参加した。これで(株)川熱のポリエステル粉体塗装、(株)明豊エンジニアリングのアルテック（鉄アルミ合金表面処理）とあわせて、新しい防食処理の御三家が揃ったので、社会インフラ設備を中心とした防食対策によるトータル費用削減を積極的に提案してゆく事とした。近くのターゲットとして羽田空港拡張計画のD滑走路建設に積極的な提案を行う事とした。</p> <p>PR かながわ女性起業家クラブ</p> <p>定例会紹介が神奈川新聞に載りました。</p> <p>8月定例会：8月20日（土）</p> <p>“貿易ゲームで起業の知恵を学ぼう！”</p> <p>○時間：18030～20:50（受付18:15～）</p> <p>○場所：フォーラムよこはま セミナールム2</p> <p>○会費：500円</p> <p>○対象：起業家や起業を志す方、テーマに興味ある方（男・女どちらも歓迎！）</p> <p>○申込み：045-774-2711（竹沢まで）</p> |
| <p style="text-align: center;">まんてんプロジェクト 千田BC（JASPA社長）</p> <p>7月15日のまんてん全体会合にて下記の承認を得ましたので報告いたします。</p> <p>①まんてん規約の制定：理念を規約化する。グループ維持への協力、守秘義務、役員の選任方法などを明示する</p> <p>②まんてんグループは異グ連会員へ入会する：異グ連の事業化プロジェクトとして活躍してきたが、創設したJASPA株も軌道に乗りつつあり、グループ会員として、異グ連メンバーとなる事となった。</p> <p>③全国航空宇宙シンポジウム（仮称）の開催：本年9月に全国の中小企業、大学等による航空宇宙プロジェクト団体に呼びかけ、東京にてシンポジウムを行う。JAXAが後援を予定。後援団体、協賛団体を広く募集する。</p> <p><JASPA株></p> <p>一方、JASPA（株）は、大手アッセンブリメーカーから、宇宙用部品を品質保証を前提として受注し、6月中旬にまんてんメンバー企業に発注した。また三次元測定機の測定業務受注第一号顧客が決定した。JASPAの社内人員は、6月から常勤が5名（社長、総務担当、技術担当、資材担当、品質保証担当2名）体制となった。</p> <p>.....</p> <p>情報提供 JASPA 千田社長が、下記のシンポジウムⅢにパネラー出席します。 異グ連事務局（広報）</p> <p>新事業創出全国フォーラム 主催：(独)中小企業基盤整備機構 日時：7月21日（木）10:30～20:30 東京全日空ホテル</p> <p>特別講演「地域パワー」 三木谷浩史、池田弘、堺屋太一 シンポジウムⅠ：がんばる地域</p> <p>シンポジウムⅡ：地域からニッポンを変える シンポジウムⅢ：地域活性化がニッポンの元氣</p> <p>詳細及び申し込みは http://www.jnb2005.com を参照してください。</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>三浦海洋深層水を楽しむ会 八幡敬和</p> <p>当会の顧問である海洋深層水の権威「中島敏光博士」が代表理事を務めるNPO法人「日本海洋深層水協会」の第2回海洋深層水全国フォーラムが開催されます。</p> <p>日時：7月23日(土) am10:00～17:00 場所：三浦市三崎港三浦市民ホール</p> <p><第一部>10:00～12:00 講演4本 <第二部>13:00～14:30 全国各地での海洋深層水利用 <第三部>14:30～16:00 海洋深層水の利用、さつま揚、温浴、魚介類鮮度保持、酒造、キャベツ栽培 <第4部>16:00～17:00 海洋深層水と地域活性化</p> <p>参加費：無料(17:00からの懇親会は3,000円) 当「楽しむ会」からは商品即売を行います。この一日だけで専門家になれる。海風に例を求めめるためにも如何。 問合せ：NPO法人 日本海洋深層水協会 045-312-1321</p> | <p>シフト21 有村BC</p> <p>「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的として、原則第二火曜日に定例会を開催しています。7月定例会は7月12日(火)に、(有)スターソリューションズ 代表取締役 持田剛氏に「簡単便利効果的なホームページの活用法とワークスブログのご紹介」と題して、ホームページの活性化ポイント、アクセスアップのヒント、最近話題のホームページやブログ事情等について話をいただきました。急速に広がる“ブログ”の活用についてじっくりと話をお伺いできました。</p> <p>シフト21では皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。 hda00467@nifty.ne.jp</p> |
| <p>アルメニア協力プロジェクト (アルメニア産業視察報告) 加藤BC</p> <p>先月、2週間の予定でアルメニアを訪問する旨、掲載しましたが無事帰国しました。</p> <p>アルメニアは、社会主義経済社会という計画経済の中で長年運営された産業が1991年の旧ソ連邦崩壊で急激にその経済的、社会的機能を突然失っています。製品の仕様や規格、生産量はすべて上部(モスクワ)で計画され、各地に伝達され、各地の工場はそれに従って指示通りに製造すればよかったです。そのためにどのような製品が市場で要望され、どのくらいの数量が必要かというマーケティング活動は全く必要ではありませんでした。それが急に生産していた製品の販売先を失い、今まで、簡単に注文できていた部品や材料も入手できなくなってしまったのです。アルメニアは、この影響を最も大きく受けた国のひとつであり、旧ソ連邦崩壊後の経済的混乱と、崩壊後にできた国境という壁がアルメニア産業へ大きなダメージを与え、それが経済復興の病根としてまだ根深く残っていることに大変な驚きをもちました。また、1988年のアルメニア北部を震源とする巨大地震の影響が15年を経ているにまだ残っていることも経済の回復に大きな影響を及ぼしています。</p> <p>今回の中小零細企業16社を訪問視察しての率直な感想として、中小企業振興のために下記を提言しました。</p> <p>1 他の事業への事業の転換を行う。新分野への転換 2 同じ技術レベルと設備における新製品の開発 3 高いグレードの製品、高品質製品への転換 4 経営者の意識改革 5 異業種交流の活用</p> <p>すでにアルメニアとしていくつかの対策を実施していますが、異業種交流活動については、最も興味を示したようです。近々、JICAと協力して詳細の報告会を開催する予定です。</p> | |
| <p>産学官交流サロンのコーナー</p> | |
| <p>第9回三浦半島経済人サロン(案内) 事務局(広報)</p> <p>日時：7月27日(水) 18:00～20:30 場所：神奈川新聞社 横須賀支社 5F会議室 テーマ：わが町・横須賀再発見 スピーカー：観光ボランティア 中林千明氏 (元高校の先生で町のスケッチと地図作りを通じて横須賀の良さを発見され、観光ボランティアとしてご活躍です) 参加費：1,000円(ビール・つまみ) 問い合わせ：神奈川異グ連(芝、八幡、石井(君)) TEL 045-0633-5142 FAX 045-633-5194</p> | <p>第9回かわさき経済人サロン(報告) 田中BC</p> <p>今回のテーマは「産学連携と中小企業のIT化」で、川崎異業種研究会が和光大学と推進している産学連携状況と、川崎研企業のホームページを和光大学の学生さんに改善してもらう計画の紹介があった。それに関連して(有)スターソリューションズ持田代表から「ワークスブログ」によるホームページの簡易更新、検索エンジンの検索率アップの紹介をもらった。企業が文系大学と連を進める動きが生まれてきており、今後の発展が期待される。</p> |
| <p>第9回神奈川新産学官交流サロン・よこはま(案内) 事務局(広報)</p> <p>日時：7月21日(木) 18:00～20:30 場所：横浜エクセレントⅢビル9F会議室(横浜市中区南仲通3-35) テーマ：横浜トリエンナーレ2005の果たす効果 スピーカー：横浜市文化芸術都市創造事業本部トリエンナーレ担当部長 石原利明氏 横浜トリエンナーレ市民広報プロジェクト「はまことり」アドバイザー 高橋 晃氏 参加費：1,000円 申し込み：(社)経営開発情報機構 河津明男(横浜サロン代表幹事) FAX 045-212-5547</p> | |

ご投稿を歓迎いたします。かながわ異グ連事務局(広報) tel 045-633-5142、fax 045-633-5194